

デュッセルドルフからのニュース

デュッセルドルフのサッカーチームが日本遠征へ

経済面での日本とデュッセルドルフの歴史は深く長いですが、スポーツ面も交流が深まっている。ドイツ2部に所属するデュッセルドルフのサッカーチーム「フォルトゥナ」のユースチームが、Jリーグから招待を受け、9月中旬に一週間ほどの日本遠征を実施した。18選手が来日中、親善試合を行ない、17歳以下の大会「チャレンジカップ」に出場した。Robert Schäfer フォルトゥナ会長もこの遠征に同行し、東京での「デュッセルドルフの夕べ」にも参加、日本でのネットワークを広げる絶好の機会となった。



左から：森田県知事、ガイゼル市長、ヒンツェ助役、シェーファー会長)

フォルトゥナのトップチームは、この夏の移籍市場が閉まる直前に獲得した宇佐美貴史選手も注目を浴びている。9月のホーム戦では、クラブ史上初の日本人選手としてゴールを決めた。約1,000人の日本人サポーターも盛り上がり、独紙「エクスプレス」は「アリーナを『Takashi's Castle』に変えた」と伝えた。Schäfer 会長は「これからも日本との友好関係を含め、積極的に日本サッカーの育成に協力したい」とコメントしている。

出典： 2017年9月28日付 DFB (www.dfb.de)

2017年9月28日付 Fortuna98 (www.f95.de)

2017年9月12日付 Express (www.express.de)



現地ドイツで印刷
inデュッセルドルフ

PrintX Co., Ltd.



ドイツ NRW州 - 日本企業に
評価し続けられるEUの拠点

日本企業約600社がノルトライン・
ヴェストファーレン (NRW) 州に進出し、
ここを起点にEUビジネスを展開中 [詳細 >](#)



SEINO DB SCHENKER

西濃シェンカー株式会社

デュッセルドルフ展示会
指定公式運送業者

詳しくは [こちらへ](#)

PACK PRINT INTERNATIONAL 2017 & T-PLAS 2017

史上最多の来場数を記録！！



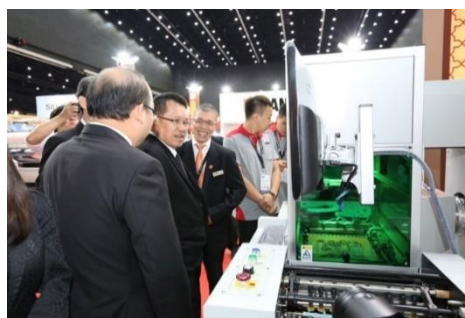
[PACK PRINT INTERNATIONAL 2017](#) – 東南アジア国際包装・印刷機材展 & [T-PLAS 2017](#) – タイ国際プラスチック・ゴム産業展が、9月20日から4日間にわたり、ASEANを牽引するタイの首都バンコクで開催され、活発な商談が行われるなか、大盛況裡のうちにその幕を閉じた。



印刷・包装機械・資材、そして包装アイデアなどが集結したPACK PRINT INTERNATIONALには、25か国から300社が出展、来場数は前回開催比20%増となる、世界59か国・17,400人超を記録

した。タイ国外からの視察も多く、なかでもインド、インドネシア、台湾、中国、ベトナム、ミャンマーなどからの来場が目立った。Packaging and Printing 4.0 (Thailand 4.0)を意識した製品・技術展示もさることながら、タイ包装協会(TPA)が主導した《One Stop Pack & Print Pavilion》、そしてinterpackではおなじみのSAVE FOOD会議などに対しても、多くの関心が集まった。

一方、プラスチック・ゴム製造・加工機械、原材料が一堂に会したT-PLASには、25か国からおよそ250の出展者と、40か国・8,200を超える来場者が集結した(前回開催比12%増)。オーストリア、シンガポール、台湾、中国、ドイツ、マレーシアはグループ出展を実現、そして、来場者の約3割がタイ国外からの参加と、非常に国際色豊かで、内容の濃い業界イベントとなった。



なお、PACK PRINT INTERNATIONALに出展した日本企業は約30社、T-PLASには7社が参加した。

次回のPACK PRINT INTERNATIONAL & T-PLASは、2019年9月18日～21日に、同じくバンコク国際貿易展示場(BITEC)にて開催される。(担当：橋木)

見本市期間中、デュッセルドルフ市内の
ホテルを多数確保！
日程、ご予算に合わせて見積いたします。
出展・視察の際はぜひお問い合わせください。

デュッセルドルフだけでなく、
ケルン、ハノーバー、フランクフルト、ミュンヘン
のホテル及び航空券も扱っております。

www.imi-messe.co.jp
TEL:03-3592-1555
株式会社アイ・エム・アイ

IMIドイツ見本市専門旅行会社
ホテルのことならお任せください

ブースデザインと施工のことは
ノイにおまかせください

NOI
Messebau weltweit seit 1983

9月29日に wire Tube 2018 発表会・レセプションを東京で開催



MDJ は来年4月、デュッセルドルフで開催されるワイヤー産業および管材製造加工・技術に関する同時開催 wire/Tube メッセの発表会を9月29日に東京で開催した。

当日は弊社本社の代表取締役 J. シェーファー (Schaefer=写真) が来日し、参加したプレス、工業会、メーカーなどの業界関係者に対し、2つのメッセの見所、特徴について発表した。会場を変えて行われたレセプションでは、食事を囲みながら業界関係者が情報交換、名刺交換に加え、2年に1回開催の2つのメッセに対する期待を語り合い、有意義なひと時を過ごした。



発表会の資料を希望の方は MDJ、担当の ユングまで[お問い合わせ下さい](#)。

出展者の声

MEDICAL FAIR THAILAND 2017 — 東南アジア国際医療機器展 2017年9月6日～8日 (タイ・バンコク)



ジャパン・パビリオンを主催した[ジェトロ](#)のコメント

「日本館は国別パビリオンの中でも会場入口付近の最も目立つところに位置し、タイ、フィリピンなど ASEAN 諸国をはじめ、インド、バングラデシュなどからの大勢の代理店や病院関係者が来場。日本全国各地より 16 社が出展し、3 日間で 1,165 件の商談が行われ、即日成約も出るほど大盛況だった。出展企業より、「期待以上の集客があった」「新規市場進に向けて大きな足がかりとなった」「代理店候補と多数の商談ができた」などの評価があり、日本の医療技術・製品に大きな信頼を寄せる海外企業との商談に出展者は大きな手ごたえを感じていた」



MEDICAL FAIR THAILAND 2017 のファイナルレポートは[こちら](#)

再生可能エネルギー普及強化に不可欠な e モビリティの新コンセプト

現在の（特に都内での）生活は、きちんと機能するインフラが整備されていると言っても過言ではない。物流面で、タイムリーに必要な食料品がスーパーやコンビニに搬出されるのはその一部に過ぎない。人の移動（朝と夜の通勤でも、日常の営業活動を含め）も、うまく機能しなければ、経済への悪影響が生じる。日本はその面で優れたインフラがあり、他の国に比べて先駆者であると言えらる。ただ、数多くの出荷など、環境への影響を考えなくてはならない。軽自動車でも排気ガスが発生することは事実。個人の移動も同様だ。このような問題の解決に貢献できるのが E モビリティだ。再生可能エネルギーの資源から発電されたエネルギーを利用すれば、二酸化炭素を排出せずにモビリティを提供することが可能。E モビリティに関しても、日本は世界中の先駆者であると言っても過言ではないだろう。例えば、今まで約 30 万台販売した日産リーフがあり、ガソリンスタンドより電気自動車の充電ステーションが上回ると報道された（全国のガソリンスタンド数 35,000 に対して、充電ステーションが 40,000 との内容）。

日本だけではなく、テスラをはじめ、メルセデス、ポルシェなど、世界中のほとんどのメーカーが電気自動車を次々と導入し、これからの普及に力をいれている。重要な課題は、顧客が期待するリーチである。一回の充電で 100 キロ、200 キロ走れるか？という問いである。しかし、主に都内で利用する場合、100 キロを超える距離を走るのか。その課題に配慮して、ドイツ NRW 州にある、アーヘン工科大学の教授たちが全く新しいコンセプトの電気自動車を開発してきた。理想的なリーチより、現実的な利用距離と値段を考えて、

- 2014 年にドイツ・ポスト傘下にある DHL に買収された電気トラックの「Street Scooter」と
- 一般乗用車の「e.go」を共同開発した。リーチは他社より低いですが、実際の利用を考えると十分と言える。また、購買に関する重要なファクターである価格は、「e.go」のコスパはすごい！1台あたり 15,900 ユーロという価格は、テスラ、日産の車の半額である。ここまでの価格で提供できた理由は、購入者のために既存のモジュールを利用したためだ。東京に駐車場があれば、筆者もすぐに購入したい！



出典：<http://e-go-mobile.com/de/modelle/e-go-life/>

メッセがもたらす経済効果：年間平均で 30 億ユーロ

展示会産業は国民経済にとって重要な役割を果たすことが否定的でない事実です。最近、展示会、会議などのイベントをまとめる概念として、「MICE」がよく利用される。MICE は、

- 企業等の会議（Meeting）、
- 企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、
- 国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、
- 展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）

の頭文字のことであり、多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称です。

その経済的な効果は図るために、メッセ・デュッセルドルフ本社が定期的に経済研究所に調査を委託。最新の調査では、2013 年から 2016 年までのデータをベースに作成され、9 月にデュッセルドルフで紹介されました。調査対象は、約 14,000 人のメッセの出展者、来場者や国際会議の参加者で、結果は実に興味深いものでした。例えば、

- デュッセルドルフで開催されるメッセの出展者と来場者は一年間で合計 19 億ユーロ（約 2530 億円）を費やす。
- メッセ来場者が支払う費用の中で、一番のシェアを占めるのは、ホテル代（43%）と旅行費（38%）。お土産などの買い物は 6%、メッセの入場券とカタログは 4% を占める。平均で、一人のメッセ来場者が来場に当たり、517 ユーロ（7 万円弱に相当）の支出が発生する。
- 出展者の場合、一社当たりの費用は約 43,150 ユーロ（574 万円）となる。主に、出展面積（21%）、ブース装飾（20%）、人件費（17%）と出張費用（12%）から構成される。

出展者と来場者が費やす費用は、ブース装飾業者とその下請け企業、ホテル・飲食業、リテール業界の収入にもなり、市町村の税金にも貢献する。調査によると、デュッセルドルフでのメッセの開催によって、4 億 6500 万ユーロの金額に相当します。その中で、約 3000 万ユーロはデュッセルドルフ市の税金となり、加えてメッセ・デュッセルドルフの筆頭株主であるデュッセルドルフ市に配当金も支払うため、現地経済への貢献度はかなり高いものがあります。

こういった事実をもとに、東京オリンピック・パラリンピック開催前後に東京ビッグサイトの展示会場が長期にわたり使用できないことが、いかに経済に悪影響を及ぼすかを再考する必要があるのではないのでしょうか…

出典：2017 年 9 月 7 日付け *Westdeutsche Zeitung* 誌と *Rheinische Post* 誌、

観光庁サイト <http://www.mlit.go.jp/kankocho/shisaku/kokusai/mice.html>、

本社メッセ・デュッセルドルフサイト <http://www.messe-duesseldorf.de>



Brauhaus Joh. Albrecht



今月ご紹介する“ブラウハウス・ヨー・アルブレヒト”はドイツ国内4か所で営業されている“ブラウハウス”（ビール醸造設備を備えたレストラン）です。各支店ごとにそれぞれ特色があり、醸造されているビールも様々ですが、閑静な住宅街にあるデュッセルドルフ店では、地ビールであるアルトビールのほかに全部で4種類のビールを醸造しています。一つのブラウハウスで4種類のビールを醸造しているのは、デュッセルドルフでは、アルブレヒトだけです。レストランの中に磨き上げられた銅製の醸造用のケッセル（醸造釜）が設置されていますが、このケッセルから“アルブレヒトのアルトビール”、マイルドな味わいの暗い色の“クプファー（銅）”、ホップの利いた明るい色の“メッシング（真鍮）”の他、特別なホップのミックスから醸造される“クラフトビール”が生まれます。どのビールもドイツビール純正法にのっとり醸造されています。飲み物メニューは[こちら](#)（独語）からご覧ください。ビールに合うお料理の数々はバラエティーに富んでおり、伝統的なドイツ料理に加えて新しいテーストのものも加えられています。メニューの内容は季節によってまた随時新しくなりますが、定番メニュー（英語版）は[こちら](#)からご覧いただけます。室内は雰囲気のある広い空間で180席ありそのうちの80席までは区切られた空間として会食やイベントに利用できません。気候がよい時期には外の席も40席あり、ビアガーデンの雰囲気を楽しむことができます。ホームページは[こちら](#)からご覧ください。

見本市会場から市電とバスお乗り継ぐ方法または、U78でハインリッヒ・ハイネアレーでU74, 75, 76乗り換えバルバロッサ・プラッツ駅下車徒歩18分という方法がありますが、会場からタクシー（約20分）に乗られることをお勧めします。



店名：Brauhaus Joh. Albrecht（ブラウハウス・ヨー・アルブレヒト）

住所：Nieder Kasseler Str. 104

40547 Düsseldorf - Niederkassel

電話：0211-570129

営業時間：年中無休 12時-00時 オーダーストップ 22時

出展者募集中のメッセ

EuroCIS 2018 – 欧州ナンバーワン・リテール技術展



2018年2月27日～3月1日（ドイツ・デュッセルドルフ）

EuroCIS

EuroShop のない年に単独で開催される「EuroCIS」は、「リテール技術」の分野においてヨーロッパで最も重要なメッセに成長しています。400を超える出展者は1万以上の専門ビジターと商談します！エプソン、沖電気工業、カシオ、グローリー、サトウ、シチズン・システムズ、寺岡精工グループのディジ、セイコーインスツル、東芝テック、日本金銭機械と富士通テクノロジー・ソリューションズ(50音順)のビジネス拡大の成功例に、貴社も続いてこのチャンスをご利用ください！[詳細情報は日本語サイト](#)にて。（担当：メルケ）

in-store asia 2018 – インド国際店舗設備・販売促進展



2018年2月22日～24日（インド・ムンバイ）



インドでのリテール業界向けの最大級のメッセ「in-store asia」は EuroShop とパートナー関係に入って、国際化を進めています。来年で初めて共催しているこのメッセの見どころが展示物以外に同時開催の国際会議やリテールデザインアワードの受賞式であります。「in-store asia」は、インドの市場について情報取得やビジネス開拓に最適なイベントです。（担当：メルケ）

glasstec 2018 – 国際ガラス製造・加工機材展



2018年9月23日～26日（ドイツ・デュッセルドルフ）



glasstec はガラス産業のバリューチェーンが一堂に会しますが、極薄特殊ガラス、断熱ガラス、レーザー技術など未来志向のテーマも高い評価を受けています。現在、出展募集中です。貴社の海外ビジネスにぜひご検討ください。[各種ご案内](#)（和文案内）（担当： ユング）

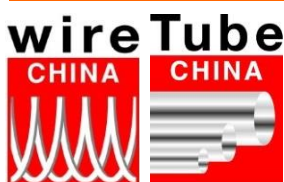
indometal 2018 – 東南アジア国際金属・スチール製造・技術展

2018年10月17日（水）～19日（インドネシア・ジャカルタ）



デュッセルドルフ開催の casting・冶金・金属産業メッセ運営のノウハウをもとに、現地パートナーとともに [indometal](#) を主催しています。ASEAN 経済圏における鉄・非鉄金属需要の増大が今後も見込まれ、貴社アジア戦略として是非「indometal」の出展ご検討下さい。[各種ご案内](#)（和文案内）（担当： ユング）

wire Tube China 2018 - 中国国際ワイヤー産業展 ・ 管材製造加工・技術展
2018年9月26(水)～29日(土)(中国・上海)



デュッセルドルフ開催「wire / Tube」展を中国市場へ適用させ、中国・東アジアで業界をリードする専門メッセへと成長して参りました。今回も、「[ファスナー特別展](#)」を計画しています。また、今回も[ジャパン・ゾーン](#)を計画中です。ご興味のある方はお問い合わせ下さい。出展資料については [wireChina](#) ⇒ と [TubeChina](#) ⇒ をご覧下さい。(担当： ユング)

INDOPLAS + indopack + INDOPRINT 2018

インドネシア国際プラスチック・ゴム・加工・包装・印刷産業展



2018年9月19日～22日(インドネシア・ジャカルタ)

ASEAN 経済の原動力として注目をあびるインドネシア・ジャカルタ開催の、プラスチック・ゴム・加工・包装・印刷産業展 [INDOPLAS - indopack - INDOPRINT](#) は、22,000 を超える関係者が集結する、同国屈指の専門メッセです。貴社のインドネシア・ASEAN ビジネス戦略の一助として、ぜひご出展ください。(担当： 橋木)

All in Print China 2018 - 中国国際印刷技術・機械展

2018年10月24日～28日(中国・上海)



中国、そしてアジアをリードする印刷技術・機械展へと成長した [All in Print China](#) は次回、2018年10月に開催されます。《Enter the Era of Intelligent Printing》とのスローガンのもと、開催される本メッセは、会期まで約1年という段階において、準備しているスペースの6割に相当するお申し込みをすでにいただいております。直近回では、出展お申し込み期限を前にスペースが完売しておりますため、ご出展につき、ぜひお早めにご検討ください。(担当： 橋木)

drupa 2020 - 国際印刷・メディア産業展

2020年6月16日～26日(ドイツ・デュッセルドルフ)



通常よりスタートを1年早め、drupaに出展するおよそ200社が参加した、[国際加工・包装産業展 - interpack](#) 会期中から、出展を募っている [drupa 2020](#) は、継続ご出展者を中心に、おかげさまですでにご関心・お申し込みをたまわっております。《embrace the future》と銘打ち、印刷の可能性を示す本メッセで、貴社の製品・技術をグローバルマーケットにアピールしてみませんか？各種ご相談は、[こちら](#)にてお受けしております。(担当： 橋木)

plast alger 2018 – 北アフリカ国際プラスチック・複合材料展
printpack alger 2018 – 北アフリカ国際印刷・包装技術展
2018年3月11日～13日（アルジェリア・アルジェ）



アフリカ大陸4大経済国の一角を占めるアルジェリアで、プラスチック、印刷、包装業界を牽引するメッセ [plast alger](#)、[printpack alger](#) に、メッセ・デュッセルドルフグループが協力します。前回2016年開催には、22か国から166社が両メッセに出展しました。アフリカ市場への足がかりに、両メッセをぜひご活用ください。（担当：橋木）

上記以外の出展者募集中のメッセ情報につきましてはこちらの[メッセ・カレンダー](#)をご覧ください。また、[こちらよりお問い合わせください](#)。

来場者向け情報

上記以外の出展者募集中のメッセ情報につきましてはこちらの[メッセ・カレンダー](#)をご覧ください。また、[こちらよりお問い合わせください](#)。

現地の交通案内、デュッセルドルフ市内地図やレストラン・ガイドなどについての情報は[こちら](#)をご覧ください。

iPhoneなどアップル製モバイル機器ご利用の方に、出展者や製品検索に「[Messe Düsseldorf App](#)」をお勧めします。AppStoreで「messe」を検索して下さい。

swop 2017 – 上海国際加工・包装産業総合展
2017年11月7日～10日（中国・上海）



[swop 2017](#) 会期まで、いよいよ数週間となりました。本年は、中国内外の優良企業による製品・技術の展示はもとより、デュッセルドルフ開催 interpack の要素をさらに導入し、《SAVE FOOD China》、《innovationparc》、そして《components》がデビューします。中国の加工・包装産業の今とこれからの知ることができる swop 2017 を、ぜひご視察ください！！
・・・[事前来場登録](#)は11月4日（土）まで（担当：橋木）

**MEDICA 2017 - 国際医療機器展 COMPAMED 2017 - 国際医療機器
技術・部品展 2017年11月13日～16日（ドイツ・デュッセルドルフ）**



世界最大の国際医療機器展 [MEDICA](#) 視察と同時開催の医療機器製造技術展 [COMPAMED](#) は間もなく開催。今回過去最高の 176 社の日本企業が出展。出展者検索方法は[こちら](#)（両展共通）。視察ツアーの情報は[こちら](#)、日本語パンフは[こちら](#)となります。前売り入場券及び公式カタログ引換券も[オンライン販売中](#)。視察を是非ご検討ください。

（担当：服部）

上記以外の開催間近のメッセ情報につきましてはこちらの[メッセ・カレンダー](#)をご覧ください。また、[こちらよりお問い合わせください。](#)

編集・広告に関する問い合わせ先：



(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1
ニューオータニ ガーデンコート 7F
Tel.:03-5210-9951 Fax:03-5210-9959
Mail:info@messe-dus.co.jp
Web:www.messe-dus.co.jp